

# Labo News

## らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会  
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17  
 花車ビル南館 〒450-0002  
 電話 052-581-1013  
 F A X 052-586-5680  
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>  
 Eメール [aamt@aichi-amt.or.jp](mailto:aamt@aichi-amt.or.jp)  
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店  
 普通口座731-677  
 発行人 中根生弥  
 編集人 武山純也

## No.436 目次

- ◆新人サポート研修会を受講して…………… (2)
- ◆平成30年度  
『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』に  
おける街頭キャンペーン活動報告…………… (3)
- ◆退任のあいさつ…………… (4)
- ◆第21回西三河がんフォーラム…………… (6)
- ◆講演会・基礎講座・研究会…………… (7)
- ◆AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
通信 (第54回)…………… (10)

## 会長就任にあたって

愛臨技会長 中根 生弥

平成30年6月17日に開催された愛臨技定時総会において、平成30年、平成31年の代表理事にご承認いただき、会長（14代）職を務めることになりました中根 生弥（J A愛知厚生連豊田厚生病院）でございます。今期は私自身も含め、全16名の役員が新しく就任しました。初陣でのスタートとなりますが、新役員および経験豊富な継続役員と協力しつつ、公益法人として県民の健康増進と公衆衛生向上を目指し、事業計画を進めたいと思います。

私の愛臨技との関わりは、16年間の研究班班員より始まり、臨床化学検査研究班班長を4年間務めました。その後40代になり愛臨技常務理事として精度管理事業部長を4年、学術部長を4年間努めさせていただき、昨年まで渉外部門担当副会長として、相山前会長の指示のもと技師会活動に携わってまいりました。これからは愛臨技会長として、これまでの経験を十分に活かしつつ、新しく愛臨技が発展できるよう役員一同努めさせていただきます。

当会は、昭和25年4月23日に、愛知県臨床検査技師会の前身である名古屋医学実験技術会として誕生し、昭和62年に法人化され、平成25年4月1日に公益社団法人を取得しました。現在では3,300名を超える会員を有する職能団体と大きく成長し、平成29年には法人設立30周年を迎えました。当会は全国と比較しても会員数の多い技師会であり、学術活動や公益事業への参画は他県からも注目されています。今後も県民はもとより中小規模施設に勤務する臨床検査技師の皆さんへ有益な情報を伝えるとともに、新人技師育成や中堅・管理者技師育成に尽力したいと思っております。また愛知県健康福祉部や愛知県医師会をはじめとする医療関連団体はもちろん、臨床検査技師養成校や賛助会員とも密に連携を図り、産官学の協力を得ながら他県が行っていない新しい企画を実施したいと考えています。

最後に、平成も間もなく新しい元号に変わろうとしているように、我々も先人の素晴らしい足跡を大切にしつつ、医療情勢の著しい変化に対応できる愛臨技に変化できるよう努めさせていただきます。是非とも、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

# 新人サポート研修会を受講して

(株)グッドライフデザイン ラボラトリー事業部 生化学部門 浅野 葉里

平成30年5月27日(日)に行われた新人サポート研修会に参加させていただきました。研修会は、これから臨床検査を行っていくうえで欠かせない基礎知識から、実際に検査をする際に気を付けなければいけないことやポイント、更には遺伝子検査や不妊治療など日常の検査室ではなかなか触れることのできないテーマまで、非常に幅広い分野を学ぶことが出来ました。今まで学校で学んできた知識を基に、検査データの見方や解釈の仕方、検体の取扱い方法など、臨床への正確なデータの提供につなげていくためにどのようにアプローチしていけばよいかを考えることが出来ました。

検体検査を行っている、ついつい対検体になってしまいがちですが、すべては患者さんのためであり、背景に患者さんが常にいるのだということをいうことを決して忘れないようにしなければならぬと改めて感じました。これからもこのような研修会や勉強会に積極的に参加し、より多面的な知識を付けて、幅広く活躍していける臨床検査技師になれるよう努めていきたいです。

最後になりましたが、この研修会を開催するにあたり関わったすべての方にこの場をお借りして御礼申し上げます。

(一社) 半田市医師会健康管理センター 臨床検査事業部 臨床化学課 太田 駿瑠

平成30年5月27日(日)名古屋市立大学医学部に於いて、新人サポート研修会が開催され、主に愛知県内の施設に就職した約140名の新人技師が参加していました。愛臨技の各研究班に所属する先輩方に、各部門での仕事内容・注意点など、詳しく講義して頂きました。配属先以外の部門における仕事内容も理解することができ、配属部門においては、より理解を深める事が出来ました。研修を受講し、私が特に印象に残っているのは『緊急検査』についてです。緊急検査とは、全身状態の把握、治療方針の決定、治療や処置に伴う必要な検査の事を示し、早急に結果を求められる検査の事です。今回の講義で緊急検査の重要性を改めて理解すると共に、それぞれの項目がどのように使用されるかを常に考えながら、その検査項目が早急に必要なものかそうでないのか判断できる力をつけていく必要があると感じました。

今後、自分が緊急検査を担当する際には、研修で学んだことを思い出し業務に取組もうと思います。また、他部門の理解を深め、同年代の仲間と学ぶ事は自らのモチベーションを高め、自身の成長を促進させる事に繋がるように感じました。研修を受け、自らの勉強不足を痛感し、勉強会に参加する意義と重要性を再認識しました。今後、勉強会が開催される際には、自らの知識と技術の向上を目指し積極的に参加していきたいと思っています。

入社して、もうすぐ2ヵ月が経とうとしておりますが、このような研修会は仕事のみならず、自らを成長させる良い機会であると私は理解しました。

最後に、新人サポート研修会を開催して下さった全ての方々にこの場をお借りして、心より御礼申し上げます。





## 平成30年度『禁煙週間』及び『歯と口の健康週間』における街頭キャンペーン活動報告

組織部 牛田 展浩

平成30年5月31日、名古屋駅前にて、世界禁煙デーに合わせた「禁煙週間」及び「歯と口の健康週間」における街頭キャンペーンが愛知県健康対策課の主催で行われ、愛臨技も参画しました。

例年、平日の日中に行われる行事のため、会員の皆様の参加が難しいのですが、公益社団法人としての愛臨技の公益活動をアピールすべく、6名の方に参加して頂きました。参加された方及び参加を承諾して頂いた施設に厚く御礼申し上げます。

JA愛知厚生連 江南厚生病院 志水 貴之

平成30年5月31日（木）名古屋駅前、ナナちゃん人形周辺で世界禁煙デー・禁煙週間の街頭キャンペーンが催されました。

禁煙週間のテーマ「2020年、受動喫煙のない社会を目指して～たばこの煙から子ども達をまもろう～」

主催は愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課、参加は医師会、歯科医師会、看護協会薬剤師会会等等など10数団体、計50名以上でした。その中、愛知県臨床検査技師会からは相山会長、牛田組織部長をはじめとする6名の参加。激しい雨の中、「今日は世界禁煙デーです、キャンペーン活動しています」と雨音に負けない声で通行される人々に啓発物品を配布しながら活動しました。今年は残念なことに、あいにくの大雨。活動エリアも制限され十分な啓発はできなかったかもしれませんが地道な活動はいつか実を結ぶ日が来ると感じました。愛知県臨床検査技師会の黄色のベストを着た活動が、県民の健康増進の一役を担うとともに臨床検査技師の認知度も上げられると良いと感じながら会場を後にしました。来年も、その先も一人でも多くの会員の方が参加していただけることを切に願います。



## 会長退任にあたって

元愛臨技会長 梶山 広美



このたび任期満了に伴い、去る6月17日に開催されました平成30年度公益社団法人愛知県臨床検査技師会定時総会をもちまして、会長職を退任いたしました。会長在任中は、会員の皆様並びに役員、そして賛助会員の皆様には会務遂行に当たりご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。入会して36年、その内19年間という長きに亘り役員として愛臨技の運営に携わることができました。役員在任中に3人の会長のもと技師会活動ができたことを嬉しく思います。そして、職場以外の経験は、何物にも代えがたい、素晴らしい出会いもあり人生の財産になりました。遡れば、稲垣勇夫元会長のもと創立50周年記念事業を担当したところから始まりました。そして、荻津直通元会長の時に一般社団法人及び一般財団法人に関する法律が施行され、当会が公益社団法人へ移行するのか一般社団法人へ移行するのか法律を勉強したことを思い出します。その後、移行作業は松本祐之元会長に引き継がれ、総務部門において移行認定の申請書類を作成、平成26年には公益社団法人を取得することができました。大きな仕事でした。また、日臨技中部圏支部担当の全国学会を愛臨技が担当することができなかったのは残念ではありましたが、日臨技中部圏支部学会を二度経験し、平成29年度は学会長を務めることができ、会員そして実行委員の皆様のおかげで盛会裏に終了できました。臨床検査技師の環境も大きく変わろうとしています。「臨床検査技師等に関する法律の一部を改正する法律」「医療法等の一部を改正する法律」の施行、そして2025年問題の中で「医療と介護」など、我々臨床検査技師は業務範囲を広げていくことになります。そのためにも、会員や会員施設を支援する技師会は、さらなる組織強化が必要となってきます。学術はもとより将来を担う人材育成も必要です。会長2期4年の中で、多くの事業を行いました、やり残したこともあります。中根新会長へ引き継ぐことにより、県民そして会員のための公益事業を更に充実させていただけると願っております。

最後に会員の皆様へ、いろいろな人と出会い情報交換、時には検査の相談等もできるのが職能団体である技師会の良いところです。他施設の技師との交流を大切にしてください。そして、今後も愛臨技の事業に参加し、できれば役員になってこれからの技師会の運営に携わっていただけると幸いです。臨床検査技師の約7割が女性です。職場でそして技師会で女性が活躍することを祈念して最後のご挨拶とさせていただきます。今後は、監事を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

## 技師会活動を振り返って

元学術担当副会長 所 嘉朗



昭和57年（1982年）4月1日に日本臨床衛生検査技師会および愛知県臨床衛生検査技師会に入会し、私の技師会活動が始まりました。職場の上司が愛臨技病理検査研究班の班長となるのを機に、班員を指名され、平成8年からは3年間にわたり病理検査研究班長を務めさせていただきました。その後、当時の荻津愛臨技会長の推薦もあり、平成14年には日本臨床衛生検査技師会の病理検査部門員、平成16年からは精度管理ワーキング委員を、さらに平成18年からは形態部門長を務めさせていただきました。学術部門を束ねるリーダーとして何をすべきかについて悩んでいたことを思い出します。日臨技の組織体制の変更に伴い退きましたが、愛臨技において平成19年からAiCCLS担当理事を、平成21年からは常務理事（組織部長）、平成25年から学術担当副会長を務めさせていただき現在に至っております。

臨床検査のイロハもわからなかった若造に諸先輩たちから根気よくご指導いただきました。また、上記の活動をする中でいろいろな方と巡り合い、いろいろとご協力、ご指導をいただきましたことにこの場をお借りして感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

これからの臨床検査技師は、医療の現場でますます活躍できる職業だと思います。若い方々のご活躍を祈念して、ご挨拶に代えさせていただきます。

## 平成28・29年度理事 退任のあいさつ

### 元会計部長 森田 秀夫



愛臨技役員を延べ15年間務めさせて頂きました。皆様のサポートに感謝申し上げます。ありがとうございました。その間、公益法人制度改革により公益社団法人化した事業が一番の思い出になりました。

臨床検査は大きな変革期を迎えています。現状を改革していくには若い人たちの大きなパワーが必要です。将来を見据えた行動力に期待しています。

### 元組織部長 牛田 展浩



組織部長としての任期を一期2年何とか無事に終えることが出来ました。何かと至らない点がありましたことご容赦ください。いろいろな方のご尽力があって愛臨技が成り立っているのを知ることができ、大変貴重な2年間でした。

今後も微力ながら組織部員として愛臨技活動を支えていきたいと思えます。

### 元広報部長 山田 真



平成25年度から5年間広報部長を務めさせていただきました。皆様の温かいご支援により会報らぼニュースの滞りない発行や当会ホームページをリニューアルすることができました。

今後も新しい会長のもと愛臨技のさらなる発展を期待いたします。

### 元会計部理事 堤 ちあき



2年間という短い間でしたが、理事を務めてみて、その役割の重要さと責任の重大さを実感致しました。ここまで務めてこられたのも、多くの皆様のご指導とご協力の賜物と存じます。今後は一会員として愛知県臨床検査技師会

に貢献したいと思います。今まで本当にありがとうございました。

### 元尾張北地区理事 矢田 啓二



愛臨技役員、地区会員の皆さんに支えられ2年間、理事を務め、日臨技との連携、組織の役割の重要さ、社会的な責任の重さ、医療関係との連携の大切さを認識させられました。

今後も公益社団法人愛臨技の会員として色々な観点から協力してゆきたいと思えます。当会ならびに臨床検査の学術的、社会的な更なる発展を祈念いたします。

### 元尾張東地区理事 南里 隆憲



任期中は会員の皆様には技師会活動に対し、御理解、御協力を賜りまして御礼申し上げます。愛臨技役員、地区の会員の方々に支えられ無事、役目を終えることができました。

この2年間で多くの事を経験させていただき、これまで関わることのなかった方々との繋がりなど、組織がいかに重要かということを感じることができました。

今後は臨床検査技師の活躍の場を広げるべく、会員の一人として、技師会活動に協力して参りたいと思えます。ありがとうございました。

### 元尾張南地区理事 片山 孝文



2年の任期を終え、理事（広報、尾張南地区）を退任することになりました。毎月の理事会や各行事へ参加し、日臨技の動静と愛臨技の方針を会員にできるだけ伝えるよう努めて参りました。その役割が少しでも果たせたのであれば幸いです。

短い期間でしたが、多くの方々にお世話になり御礼申し上げます。施設を異にした交流は私個人にとり貴重なものとなりました。本当にありがとうございました。今後の愛知県臨床検査技師会の益々の発展をご祈念申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。

### 元知多地区理事 白石 了三

知多地区の理事に就任し、あっという間の2年間でした。公益社団法人愛臨技役員の方々より、いろいろ御教示いただきましてありがとうございました。



今後は後任の理事、施設連絡責任者と協力し合い、よりよい地区運営に貢献したいと思います。

### 元西三河地区理事 井上 正朗

愛臨技役員、地区会員の皆さんに支えられ、なんとか無事に理事を務めることが出来ました。数々の行事に関わることによって、理事の責任の重大さを実感致しました。



今後も公益社団法人愛臨技の会員として微力ながら協力してゆきたいと思います。

### 元東三河地区理事 神谷 秀典

このたびは二年間にわたりまして、大変お世話になりました。

無事に任期を終えることができたのも、皆様からの温かな協力があればこそそのものと実感しております。私にとってこの二年間は素晴らしい経験になりました。ありがとうございました。



ありがとうございました。

### 《愛臨技生涯教育認定登録団体研究会のご案内》

## 第21回西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：2018年9月5日(水) 18:30～20:00

場所：安城更生病院 2階 講堂

テーマ：＜一般講演＞『安城更生病院における高精度放射線治療について』

＜特別講演＞『がん患者の消化器症状』

講師：＜一般講演＞

安城更生病院 放射線科 岡江 俊治

＜特別講演＞

愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア部  
部長・緩和ケアセンター長 下山 里史

司会：安城更生病院 緩和ケア内科

代表部長

足立 康則

参加費：無料

内容：近年、がんは2人に1人が罹患するといわれています。地域がん診療連携拠点病院である当院は、がんに関する知識の普及啓発に取り組んでいます。がん治療は手術療法、放射線治療、化学療法があり、今回の西三河がんフォーラムでは放射線治療とがんと消化器症状の関係について学びます。

一般演題として、当院放射線科の岡江より、安城更生病院における高精度放射線治療について講演します。そして、特別講演として、がん患者への消化器症状に対する緩和ケアについて愛知県がんセンター中央病院の下山先生に講演していただきます。

西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に、がん患者の消化器症状に対する緩和ケア、高精度放射線治療について学びます。



## 講演会

### 血液検査研究班

専門教科：20点

日時：平成30年8月18日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋大学医学部基礎棟3F第1講義室  
名古屋市昭和区鶴舞町65番地

JR中央線・鶴舞駅下車

テーマ：画像から見る造血器腫瘍

講師：

1. 「PET-CTをみよう！ここが気になるPET-CT」  
JA愛知厚生連豊田厚生病院 放射線科

柴田 貴行

2. 「検査所見から見る悪性リンパ腫診療の実際」  
名古屋大学医学部附属病院 亀山なつみ  
名古屋大学医学部附属病院 血液内科

島田 和之

司会：JA愛知厚生連豊田厚生病院 酒巻 尚子

内容：造血器腫瘍の診断と治療のプロセスにおいてどのような画像検査がなされているのでしょうか。放射線技師によるCT、PET-CTの基礎から、その画像を医師がどのように見て診断・治療に生かしているかを講演して頂きます。血液細胞はわかるけど、PET-CTの見方がわからない方必見です。多数の参加お待ちしております。

## 基礎講座

### 微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：平成30年9月9日(日) 9:00～16:00

場所：名古屋大学医学部 基礎研究棟  
第1講義室・実習室

テーマ：『初心者登竜門 GPC耐性菌の巻』

担当：JA愛知厚生連 豊田厚生病院  
永田 悠起  
JA愛知厚生連 江南厚生病院

及川 加奈

愛知医科大学病院 宮崎 成美

内容：近年、耐性菌が問題視されています。今回の基礎講座はグラム陽性球菌（GPC）の耐性菌を確実に検出する事を目的に企画しました。迅速・正確な検出報告に必

要な同定・感受性・確認試験の各工程を講義（知識）と実習（技術）の両面より班員がサポートさせていただきます。翌日からの業務にお役に立てる内容です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

定員：30名程度 受付先着順

※経験年数5年程度、またはGPC耐性菌検出に自信のない方

※申込状況により、こちらで調整させていただきます。

参加費：5,000円 ※当日徴収します。

(県外会員5,500円、非会員7,000円)

昼食：各自で持参して下さい。

申込先：愛知県臨床検査技師会・微生物検査研究  
班ホームページにて必要事項を記入し、  
お申込み下さい。

申込期間：平成30年7月9日～7月31日

問合せ先：JA愛知厚生連 豊田厚生病院

永田 悠起

アドレス：yukinokaze0323@yahoo.co.jp

電話番号：0565-43-5000 (内2979)

## 基礎講座

### 病理細胞検査研究班

専門教科：20点

日時：平成30年9月16日(日) 9:00～16:00

場所：名古屋大学医学部保健学科  
本館2階・第1講義室、3階・実習室  
名古屋市東区大幸南1-1-20

テーマ：肺がん Up-to-Date

講演1：「総論」

愛知医科大学病院 宮下 拓也

講演2：「肺の感染症」

豊川市民病院 都築 菜美

講演3：「肺の細胞診」

JA愛知厚生連 海南病院 北島 聖晃

講演4：「コンパニオン診断の実際と課題」

名古屋第一赤十字病院 郡司 昌治

実習：FISH標本の観察と解説

AiCCLS細胞診アトラスを使った検鏡実習  
(15症例予定)

司会：小牧市民病院

藤田 智洋

内 容：午前は肺がんの総論、感染症、細胞診、コンパニオン診断に関する講義を行います。

午後の実習ではFISH法の標本の観察と手法の解説を行います。また、愛知県臨床検査標準化協議会（AiCCLS）が作成した細胞診アトラス（呼吸器シリーズ）を使った細胞診標本の鏡検実習を行います。

病理検査初心者からベテランの方まで幅広く参加者を募ります。なお、認定病理検査技師更新単位と細胞検査士更新単位の取得申請を予定しています。詳細は病理細胞検査研究班のホームページでお知らせします。

定 員：40名

参 加 費：3,000円

（県外会員3,500円、非会員5,000円）

申込方法：日臨技ホームページ 会員専用ページの「事前参加申し込み」→「行事コード180010066」からお申し込みください。申し込み後、1週間以内に受領メールが届かない場合は、連絡先までお問い合わせください。

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③かな氏名  
④施設名 ⑤電話番号（内線）  
⑥病理検査経験年数  
⑦認定病理技師資格の有無と認定番号  
⑧細胞検査士資格の有無と認定番号

申込期限：7月2日（月）～8月16日（木）

（定員になり次第締切）

連絡先アドレス：khashimo@met.nagoya-u.ac.jp

連 絡 先：名古屋大学大学院医学系研究科

橋本 克訓 TEL 052-719-3107（直通）

注意事項：構内の食堂は営業しておりません。昼食は各自で用意して下さい。受講料の納入方法などは受領メールにてお知らせします。

## 基礎講座

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成30年9月23日（日）10：00～16：00

場 所：藤田保健衛生大学

基礎科学実験センター 2階201実習室

愛知県豊明市杣掛町田楽ヶ窪1番地98

テ ー マ：体験しよう！～理解しやすいELISA法～  
プログラム：

10：00～11：00 【講義】 イムノアッセイについて

11：00～12：00 【講義】 結果に影響を与える要因

12：00～13：00 昼食

13：00～14：30 【講義&実習】 ELISA法

14：30～15：00 【講義&実習】 イムノクロマト法

15：00～16：00 HCV検査を例にケーススタディ、  
実習まとめ

講 師：オーソ・クリニカル・ダイアグノスティ  
ックス株式会社 金子 武行

司 会：JA愛知厚生連江南厚生病院 林 克彦

内 容：自動化の進歩により簡便で高感度の測定が可能となったイムノアッセイですが、一方、反応過程のブラックボックス化も進みました。今回、ELISA法を実際に体する事によりブラックボックスの中を覗いてみましょう。「理解しやすい」がキーワードですので新人の方でも大丈夫です！多数の参加をお待ちしております。

申込方法：日臨技ホームページ会員メニューの「事前参加申込」から行事を選択し、参加登録を行ってください。備考欄には生化学免疫検査経験年数を記載してください。非会員の場合は「問合せ先」のアドレスへメールでご連絡ください。

申込期限：平成30年7月1日（日）～9月2日（日）  
但し、定員になり次第締切りとさせていただきます。

定 員：40名

参 加 費：愛臨技会員 2,500円

他県技師会員 3,000円

非会員 4,500円

問合せ先：zebra@zebra.odn.ne.jp

江南厚生病院

林 克彦

\*昼食は各自でご用意下さい。

\*実習に必要な物品は受付完了後、開催前までに受講者へメールでお知らせいたします。

\*受領メールが届かない場合は、「問い合わせ先」のアドレスへメールでご連絡ください。

## 研 究 会

### 血液検査研究班

専門教科：20点

日 時：平成30年9月15日(土) 15:00～17:30

場 所：リップスクエア

アーバンネット名古屋ビル20F

久屋大通駅より徒歩1分

テ ー マ：DICについて

講 師：

1.「凝固検査トピックス～新DIC診断基準を受けて～」

シスメックス株式会社

相原 孝至

2.「症例報告」

大垣市民病院

杉山 直久

市立四日市病院

服部 由香

3.「DICの実践知識教えます」

名古屋大学医学部附属病院輸血部 鈴木 伸明

司 会：鈴鹿回生病院

広瀬 逸子

名古屋大学医学部附属病院 山本ゆか子

内 容：実践で役立つDICの知識を身に付けましょう！本研究会は愛知県、岐阜県、三重県の合同勉強会です。講義と症例報告を用意しています。参加をお待ちしています。

定 員：40名（愛知県枠）

参 加 費：会員無料 非会員 2000円

募集期間：7月1日(日)～8月31日(金)

但し定員になり次第締め切ります。

申 込 先：日本臨床検査技師会HP会員専用ページ「事前申し込み」よりお申し込みください。受領メールが届かない場合は下記連絡までお問い合わせください。非会員の方は下記連絡先までご連絡下さい。

連 絡 先：JA愛知厚生連江南厚生病院

臨床検査科 血液検査

【Tel】0587-51-3333（内線2358）

【Mail】t.kawasaki.kk@gmail.com

川崎 達也

### 愛臨技事務所のネット環境について（お詫び）

昨年より愛臨技事務所宛に送って頂いた各種メールが届いていない事例が数件発覚しました。（学術部関係で3件、広報部関係が1件）

原因としてはネット環境の老朽化が最も疑われますが、特定はできておりません。現在、ネット環境の改善に向け検討を行っておりますが、しばらくは不安定な状況が続くことが予測されます。

関係会員各位にご迷惑をおかけします事、お詫び申し上げます。

広報部 山田 真

2018年6月11日現在 正会員数 3,335名



# AiCCLS

## 愛知県臨床検査標準化協議会

### 通信 (第54回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization：AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発行された刊行物のうち、「細胞診アトラス」についてご紹介いたします。

これから細胞診を学ぶ初心者から経験を積んだベテランまで幅広く活用できるように細胞画像を多数取り入れて編集しました。日常業務のなかで多くの方に活用して頂けると幸いです。今回は、呼吸器シリーズ（良性・炎症）として“アスベスト小体（石綿肺）”と“シャルコー・ライデン結晶”を添付しました。今後、順次あらたなアトラスを作成していきますのでご期待ください。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

#### アスベスト小体(石綿肺)

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
細胞診アトラス “呼吸器シリーズ” (3)

患者年齢 70 歳代 性別 男性 検体種類 喀痰(写真 1、2)、肺洗浄液(写真 3、4)  
臨床所見：建材会社勤務歴あり

【判定】 陰性

【細胞所見】

アスベスト小体は鉄アレイ状の形状をした物質で、パバニコロウ（Pap.）染色では黄褐色または黄緑色を呈する（写真 1～4）。

【細胞診断のポイント】

アスベスト小体は、アスベスト繊維がヘモジリン・フェリチン・糖蛋白質の複合体により覆われたものであり、これにより光顕で観察可能となる<sup>2)</sup>。別名「含鉄小体」と呼ばれ、鉄染色（ベルリン青染色）陽性を示す。角閃石類では直線状になりやすく、蛇紋石類は細く屈曲した形状になる<sup>3)</sup>。

【定義・概念】

石綿肺は石綿（アスベスト）の吸入による肺線維症であり、病理学的には石綿小体（アスベスト小体）あるいはアスベスト繊維の沈着を伴う肺の線維化である<sup>2)</sup>。アスベストは、中皮腫や扁平上皮癌の発生に関与する発癌物質と考えられている。

アスベストは自然界に存在する珪酸塩の集合体で、長さや太さの異なる繊維から構成される。大きさ・結晶構造・化学構成により針状の角閃石類（Amphibole）と長くしなやかな蛇紋石類（Serpentine）の 2 群に分類される<sup>2)</sup>。代表的なものは青石綿（角閃石類・クロソイド）、茶石綿（角閃石類・アモサイト）、白石綿（蛇紋石類・クリノタイル）で、発癌性は青石綿が一番高く、次いで茶石綿、白石綿の順である<sup>3)</sup>。

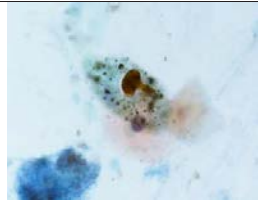


写真 1：Pap. 染色 ×100



写真 2：クロム酸シッフ反応 ×100



写真 3：Pap. 染色 ×100

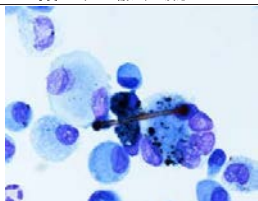


写真 4：MG 染色 ×100

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization

#### シャルコー・ライデン結晶

AiCCLS 愛知県臨床検査標準化協議会  
細胞診アトラス “呼吸器シリーズ” (4)

患者年齢 80 歳代 性別 男性 検体種類 喀痰

臨床所見：好酸球性肺炎の疑い

【判定】 陰性

【細胞所見】

シャルコー・ライデン結晶は菱形八面体の結晶物質で、パバニコロウ（Pap.）染色では通常オレンジ G やエオジンに好染し、赤褐色を呈色する（写真 1、2）。一部にはライトグリーン好性のものや（写真 3、4）、ライトグリーンおよびオレンジ G の両方に染まるものなども見られる。

【細胞診断のポイント】

シャルコー・ライデン結晶は、好酸球の顆粒に由来する結晶である。好酸球が崩壊するときに、細胞質内の顆粒が溶解し結晶化することによってできると考えられている<sup>4)</sup>。メイ・ギムザ（MG）染色、Pap. 染色の順に検出率が低下するといわれ、固定や染色の過程で結晶が溶けると考えられる<sup>5)</sup>。気管支喘息の他に肺吸虫症や赤痢アメーバ性潰瘍性大腸炎など、好酸球が増加する疾患で見られることもある。

【定義・概念】

シャルコー・ライデン結晶は細胞診標本上では菱形に見えることが多いが、本来は無色、六角形の形状のため、六方菱形結晶、Charcot-Robin crystal, arthus crystal などと呼ばれる。シャルコーとライデンはそれぞれ人の名前で、シャルコーは Jean-Martin Charcot（フランスの神経科医）、ライデンは Ernst Victor von Leyden（ドイツの内科医）に由来する<sup>6)</sup>。

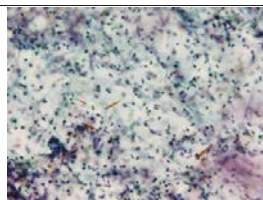


写真 1：Pap. 染色 ×40

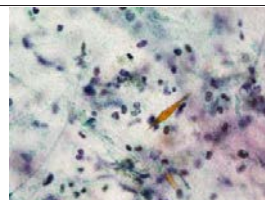


写真 2：Pap. 染色 ×100

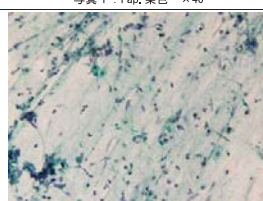


写真 3：Pap. 染色 ×40

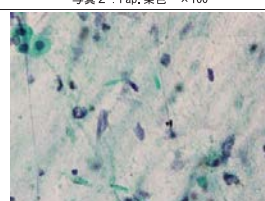


写真 4：Pap. 染色 ×100

Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization